令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	34	事業No.	208		
事務事業名	人材育成事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	工業課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	製造業等を支える人材
	意図	技術力・開発力・生産管理力を高め、成長性の高い産業分野（航空機分野等）の集積化と既存産業の体質強化、高度化・高付加価値化を目指す

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	航空機システム共同研究講座を正式な大学院として格上げするための関係機関との調整とともに、講座運営の財源確保が課題として挙げられます。エス・バードを活用して次世代を担う子どもたちに対して、ものづくりの楽しさを醸成する取組の強化します。技術・技能者や管理者の研修による底上げが必要です（審議会）。食品分野における機能性食品等の開発に向けた人材育成の強化が必要です。製造現場における省力化に伴うIot、AI、ロボット等の導入が必要です（審議会）。デザインをはじめ産業振興に資する高等教育機関の設置を研究してください。（議会提言）

2年度取組

取組内容

・地域産業の魅力を伝え、ものづくりの楽しさを知ってもらうため、スーパーサイエンス事業や子ども科学工作教室を開催します。
・製造現場における技術・技能者や管理者の育成研修と新たにIT関連分野を加え飯田産業技術大学を実施します。
・信州大学航空機システム共同研究講座の学生支援するとともに、新たに信州大学農学部と連携し「信州フードスペシャリスト養成プログラム」を開講します。また、デザイン分野における高等教育機関の開設に向けて関連機関と連携し検討を進めます。
・エス・バード内に誰もが気軽にものづくりを体験できる「ファブ・スタ（仮称）」を開設し、次世代人材とメンターを育成します。

経費の内容	事業費(千円)
こども科学教室、スーパーサイエンス、ＪＡＸＡ連携事業等	1,578
飯田産業技術大学事業負担金（中事業）	2,894
信州大学院飯田コース事業負担金	3,000
フードスペシャリスト養成プログラム事業負担金	1,600
共創の場ものづくり工房事業負担金	15,369
信大航空機システム負担金	4,047
その他の経費	4,050

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
次世代育成を目的とした講座参加者数	人	300	253	300	264	300		300	
信大「特別の課程」１年コース修了者数	人	8	11	8	4	8		8	
飯田産業技術大学参加者数	人	1,000	1,007	1,000	913	1,000		1,000	
航空機システム共同研究講座学生数	人		2		7	7		10	
ものづくり工房（仮称）利用者数	人							120	
スペシャリスト養成プログラム受講者数	人							15	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	32,538
国庫支出金	0
県支出金	3,000
地方債	0
その他	15,680
一般財源	13,858

特定財源内訳及び補足事項

（県）地域発元気づくり支援金（１／２）
（そ）工業課雑入　30千円
（そ）工業振興寄附金（企業版ふるさと納税）　4,050千円
（そ）ふるさと寄附金　11,600千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	16	25,044 0	次世代を担う産業人材育成事業費
2	1	7	1	5	10	18	2,894 0	飯田産業技術大学事業費
3	1	7	1	5	10	28	4,600 0	ものづくり高度人材育成事業費
4								
5								
6								
7								